皆さま、こんにちは。蛭川でございます。

本日は大変お忙しい中、ご参加いただき、誠にありがとうございます。

アジェンダ

■ 決算のポイント	P.3
■ 業績サマリー	P.4、7
■ 営業利益分析	P.5、8
■ 業績　セグメント概要	P.6、9
■ 業績　セグメント情報	P.10～13
■ セグメント別　製品・サービス売上	P.14～15
■ 業績予想サマリー	P.16
■ 業績予想　セグメント概要	P.17～19
■ 業績予想　セグメント情報	P.20～21
■ 【補足資料】主要製品売上・台数	P.22
■ 自己株式の取得について	P.23
■ 財務指標推移　配当性向／EPS／配当	P.24
■ 参考資料	P.26

© Canon Marketing Japan Inc. 2025

それでは、2025年第3四半期決算と業績予想についてご説明致します。

このアジェンダに沿って説明を進めてまいります。

決算のポイント

Canon
キヤノンマーケティングジャパングループ

2025年12月期 第3四半期 業績概要

・対前年 増収・増益。
・ITプロダクト・システム販売や保守・運用サービス/アウトソーシングが好調に推移し、
ITソリューションの売上は対前年+9%と成長を継続。
・営業利益、経常利益、純利益は第3四半期の過去最高を更新。

2025年12月期 業績見通し

・営業利益、経常利益を10億円上方修正。
・営業利益の増加に加え、政策保有株式の売却益を計上したことにより、純利益を10億円上方修正。

トピックス

・年間配当予想を160円（配当性向43%）に増配。
・自己株式の取得（2,000,000株）を行うことを決定。

© Canon Marketing Japan Inc. 2025

3ページ目は、決算のポイントです。

3Qは、対前年で増収増益となりました。
ITプロダクト・システム販売や保守・運用サービス/アウトソーシングが好調に推移しており、
ITソリューションの売上は対前年プラス9%と成長を継続しています。
この結果、営業利益、経常利益、純利益は第3四半期の過去最高を更新しました。

年間の見通しについては、
エリアセグメントで付加価値の高いITソリューション事業が好調に推移したことや、
拠点統廃合費用等の本社関連費用が当初の想定より抑えられていること等により、
営業利益、経常利益を10億円上方修正しました。

また、当社では以前から政策保有株式の縮減に向けた取り組みを加速させており、
3Qにも政策保有株式の売却を実行致しました。
営業利益の増加に加え、政策保有株式の売却益を計上したことにより、
純利益を10億円上方修正しております。

続いて、3Qのトピックスです。
今回、年間配当予想を160円に増配することと致しました。
また、本日開催の取締役会において、自己株式の取得を行うことを決定致しました。
こちらについては、最後に大里からご説明致します。

業績サマリー　第3四半期(7月～9月)

Canon
キヤノンマーケティングジャパングループ

✓ 営業利益、経常利益、純利益は第3四半期の過去最高を更新

（単位：億円）

	2024年 3Q	2025年 3Q	前年同期比較	
			金額	率
売上高	1,543	**1,580**	+37	+2%
売上総利益	497 (32.2%)	**509** (32.2%)	+12 (+0.0pt)	+2%
営業利益	103 (6.6%)	**109** (6.9%)	+6 (+0.2pt)	+6%
経常利益	103 (6.7%)	**115** (7.3%)	+12 (+0.6pt)	+12%
親会社株主に帰属する四半期純利益	68 (4.4%)	**84** (5.3%)	+16 (+0.9pt)	+23%

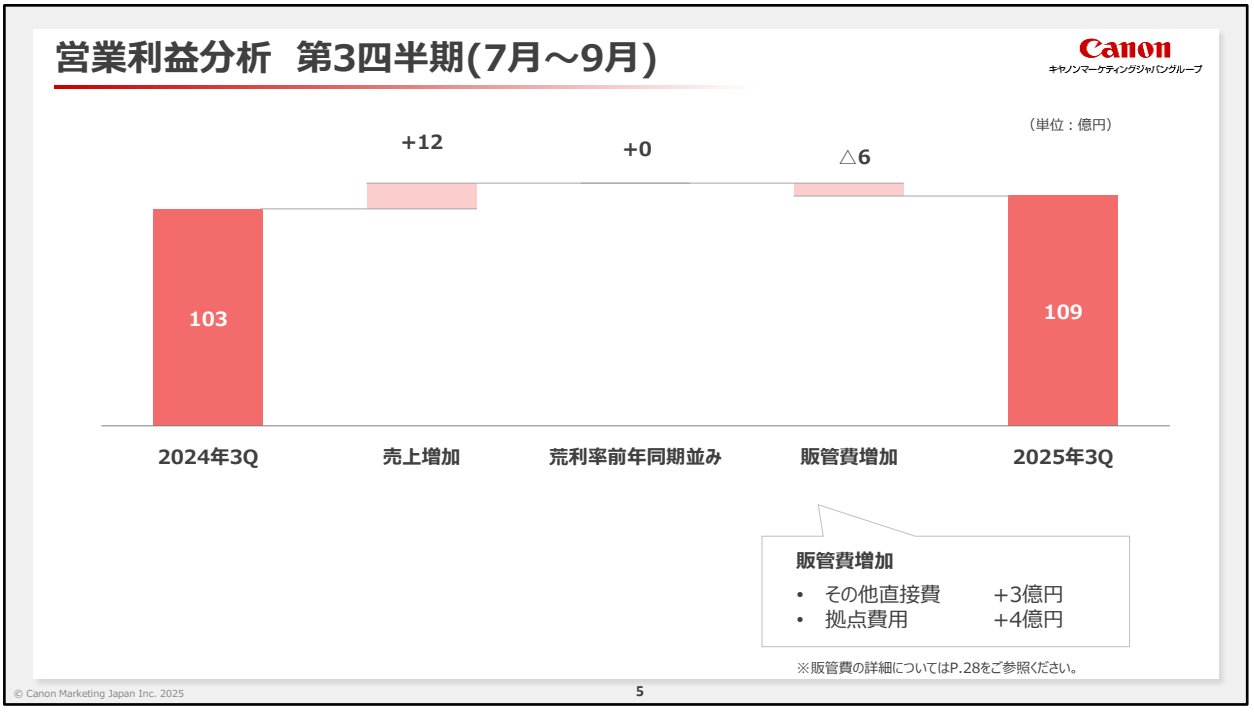
© Canon Marketing Japan Inc. 2025

4ページ目は、3Qの業績サマリーです。
先ほどお伝えした通り、3Qは、対前年で増収増益となり、営業利益、経常利益、
親会社株主に帰属する四半期純利益は、第3四半期の過去最高を更新しました。

売上は、ITソリューションが順調に推移したこと等により、対前年2%増加の1,580億円となりました。

営業利益は、売上の増加に伴う荒利の増加により、対前年6億円増加の109億円となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、政策保有株式を売却したことに伴う
投資有価証券売却益を計上したことで、対前年16億円増加の84億円となりました。



5ページ目は、3Qの営業利益分析です。

売上の増加に伴い荒利が12億円増加しております。

荒利率については、前年同期並みとなっております。

販管費については、拠点の統廃合に伴う費用の増加や、商談活動の活発化に伴うSE費用や物流費等のその他直接費の増加等により、6億円増加しております。

なお、3Qの販管費の詳細は28ページの「販管費の内訳」をご参照ください。

業績 セグメント概要　第3四半期(7月～9月)

Canon
キヤノンマーケティングジャパングループ

（単位：億円）

	2024年 3Q		2025年 3Q		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
コンスーマ	342	29	**317**	**23**	△25	△6
エンタープライズ	599	38	**637**	**44**	+38	+6
エリア	555	36	**589**	**48**	+34	+12
プロフェッショナル	89	8	**88**	**7**	△1	△1
その他	△42	△8	**△51**	**△13**	△8	△5
合計	1,543	103	**1,580**	**109**	+37	+6

※「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、シェアードサービス事業、セグメント間取引消去を含んでおります。
※2025年より、「その他」にあったプリマジェストを「エンタープライズ」セグメントに移管したことに伴い、2024年実績を組替えております。
※2025年より、「エンタープライズ」セグメントにあった一部事業を「その他」に移管したことに伴い、各セグメントの2024年実績を組替えております。

© Canon Marketing Japan Inc. 2025

6ページ目は、3Qのセグメント別の実績概要です。

コンスーマセグメント、プロフェッショナルセグメントで減収減益となりましたが、
エンタープライズセグメント、エリアセグメントで増収増益となりました。

なお、BPO事業の連携強化のため、グループ内に点在していたBPOの部門を一つの拠点に集約しました。
これに伴う拠点統廃合費用の発生により、その他セグメントで販管費が増加しました。

セグメントごとの詳細については、この後ご説明致します。

業績サマリー　第3四半期累計(1月～9月)

Canon
キヤノンマーケティングジャパングループ

✓ 営業利益、経常利益、純利益は3Q累計の過去最高を更新

（単位：億円）

	2024年 1Q-3Q	2025年 1Q-3Q	前年同期比較	
			金額	率
売上高	4,732	**4,918**	+186	+4%
売上総利益	1,531 (32.4%)	**1,568** (31.9%)	+37 (△0.5pt)	+2%
営業利益	363 (7.7%)	**382** (7.8%)	+19 (+0.1pt)	+5%
経常利益	373 (7.9%)	**395** (8.0%)	+23 (+0.2pt)	+6%
親会社株主に帰属する四半期純利益	270 (5.7%)	**273** (5.5%)	+3 (△0.2pt)	+1%

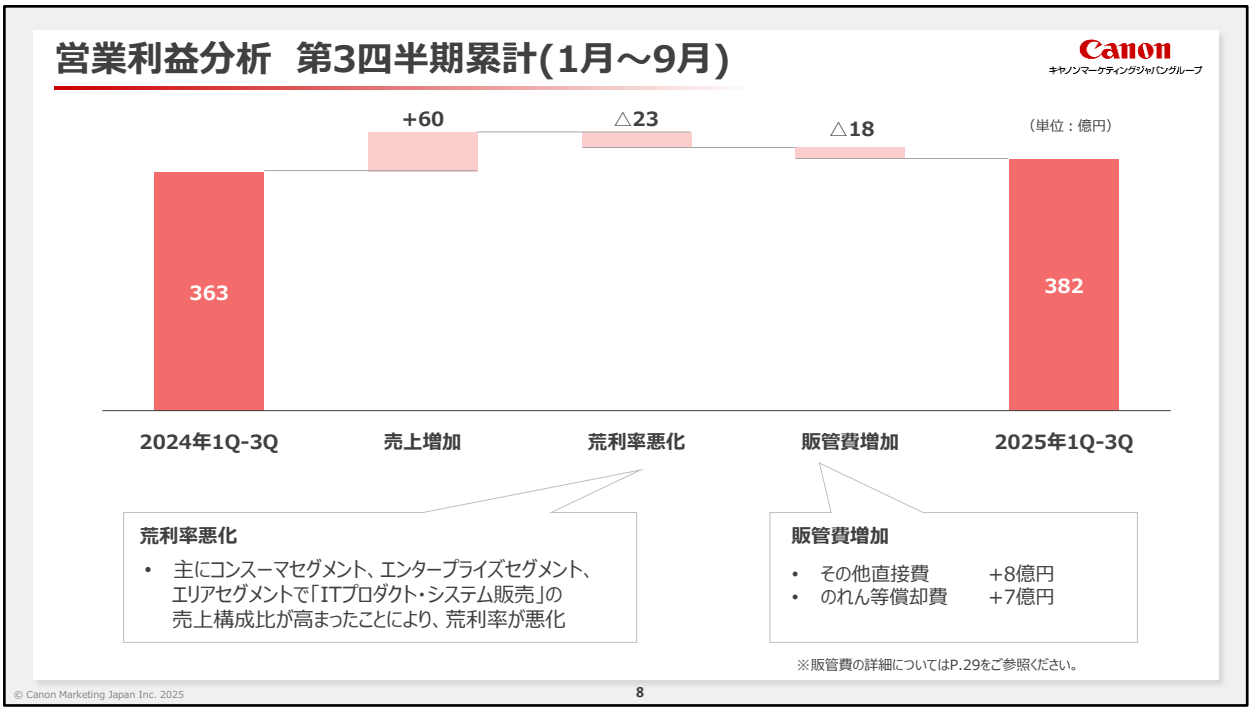
© Canon Marketing Japan Inc. 2025

7ページ目からは、累計の実績です。

2025年3Q累計の売上は、
ITソリューションの好調が継続していることにより、増収となりました。

営業利益は、売上の増加に伴う荒利の増加により、増益となり、3Q累計の過去最高を更新しました。

経常利益と親会社株主に帰属する四半期純利益も増益となり、こちらも3Q累計の過去最高を更新しました。



8ページ目は、3Q累計の営業利益分析です。

売上の増加に伴い荒利が60億円増加しております。

荒利率については、主にコンスーマセグメント、エンタープライズセグメント、エリアセグメントで「ITプロダクト・システム販売」の売上構成比が高まったことにより、荒利率が悪化しております。

販管費については、のれん等償却費の増加に加え、商談活動の活発化に伴うSE費用や物流費等のその他直接費が増加したこと等により、18億円増加しております。

なお、第3四半期累計の販管費の詳細は29ページの「販管費の内訳」をご参照ください。

業績 セグメント概要　第3四半期累計(1月～9月)

Canon
キヤノンマーケティングジャパングループ

（単位：億円）

	2024年 1Q-3Q		2025年 1Q-3Q		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
コンスーマ	983	82	**974**	**73**	△9	△9
エンタープライズ	1,817	131	**1,972**	**141**	+155	+10
エリア	1,724	133	**1,783**	**161**	+59	+28
プロフェッショナル	338	40	**349**	**36**	+11	△4
その他	△130	△23	**△160**	**△29**	△30	△6
合計	4,732	363	**4,918**	**382**	+186	+19

※「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、シェアードサービス事業、セグメント間取引消去を含んでおります。
※2025年より、「その他」にあったプリマジェストを「エンタープライズ」セグメントに移管したことに伴い、2024年実績を組替えております。
※2025年より、「エンタープライズ」セグメントにあった一部事業を「その他」に移管したことに伴い、各セグメントの2024年実績を組替えております。

© Canon Marketing Japan Inc. 2025

9ページ目は、3Q累計のセグメント別の実績概要です。

売上は、コンスーマセグメントで減収となりましたが、
エンタープライズセグメント、エリアセグメント、プロフェッショナルセグメントで増収となりました。

営業利益は、コンスーマセグメント、プロフェッショナルセグメントで減益となりましたが、
エンタープライズセグメント、エリアセグメントで増益となりました。

業績 セグメント情報　第3四半期(7月～9月)　コンスーマ

Canon
キヤノンマーケティングジャパングループ

コンスーマ　ビジネス　ITプロ　ITソリューション

- ✓ 売上高は、レンズ交換式デジタルカメラやインクジェットプリンターが減少したこと等により、減収
- ✓ 営業利益は、売上減少に伴う荒利の減少により、減益

（単位：億円）

	3Q実績（7-9月）				累計実績（1-9月）			
	2024年	2025年	対前年 金額	対前年 率	2024年	2025年	対前年 金額	対前年 率
キヤノン製品他	261	**226**	△35	△13%	727	**682**	△45	△6%
ITソリューション	81	**91**	+10	+12%	256	**292**	+36	+14%
売上高計	342	**317**	△25	△7%	983	**974**	△9	△1%
営業利益	29	**23**	△6	△22%	82	**73**	△9	△11%
利益率	8.6%	**7.2%**	△1.4pt	–	8.3%	**7.5%**	△0.8pt	–

※2025年より、「エンタープライズ」セグメントにあった一部事業を「その他」に移管したことに伴い、各セグメントの2024年実績を組替えております。

■コンスーマ製品（対前年伸び率）

		1Q実績	2Q実績	3Q実績
レンズ交換式デジタルカメラ	(台数)	△15%	△12%	△25%
インクジェットプリンター	(台数)	△14%	△8%	△14%
インクジェットプリンターカートリッジ	(金額)	△7%	△7%	△5%

© Canon Marketing Japan Inc. 2025

10ページ目は、コンスーマセグメントのご説明です。

3Qの売上は、レンズ交換式デジタルカメラやインクジェットプリンターが減少したこと等により、
対前年7%減の317億円となりました。
営業利益は、売上減少に伴う荒利の減少により、対前年6億円減の23億円となりました。

（レンズ交換式デジタルカメラ）
レンズ交換式デジタルカメラについては、前年同期の円安によるインバウンド需要や
「EOS R5 Mark II」の発売があった反動、エントリークラスで販売を終了した機種があったことにより、
台数は対前年25%減となりました。

交換レンズについても、本体の出荷台数の減少に伴い、売上は減少しました。

（インクジェットプリンター）
インクジェットプリンターについては、市場の縮小や前年同期に新製品の発売があった反動により、
台数は対前年14%減となりました。
インクカートリッジについても、プリントボリュームの減少等により、売上は減少しました。

（ITプロダクト）
ITプロダクトについては、高性能PCやPC周辺機器の販売が好調に推移したこと等により、
売上は大幅に増加しました。

業績 セグメント情報　第3四半期(7月～9月)　エンタープライズ

Canon キヤノンマーケティングジャパングループ

- ✓ 売上高は、「キヤノン製品他」及び「ITソリューション」が順調に推移したことにより、増収
- ✓ 営業利益は、売上増加に伴う荒利の増加により、増益

（単位：億円）

	3Q実績（7-9月）				累計実績（1-9月）			
	2024年	2025年	対前年 金額	対前年 率	2024年	2025年	対前年 金額	対前年 率
キヤノン製品他	140	**148**	+8	+6%	436	**436**	△1	△0%
ITソリューション	458	**489**	+30	+7%	1,381	**1,536**	+156	+11%
売上高計	599	**637**	+38	+6%	1,817	**1,972**	+155	+9%
営業利益	38	**44**	+6	+15%	131	**141**	+10	+7%
利益率	6.4%	**6.9%**	+0.5pt	–	7.2%	**7.1%**	△0.1pt	–

※2025年より、「エンタープライズ」セグメントにあった一部事業を「その他」に移管したことに伴い、各セグメントの2024年実績を組替えております。 ※2025年より、「その他」にあったプリマジェストを「エンタープライズ」セグメントに移管しました。

■（ご参考）主要関係会社実績　キヤノンITソリューションズ

	3Q実績 2024年	3Q実績 2025年	増減 率	3Q累計実績 2024年	3Q累計実績 2025年	増減 率
売上高	340	368	+8%	1,027	1,098	+7%
営業利益	33	38	+15%	104	111	+6%

※2025年7月より、ＴＣＳをキヤノンITソリューションズへ合併したことに伴い、キヤノンITソリューションズの2024年実績を組替えております。

キヤノンITソリューションズ受注高・受注残高（対前年伸び率）

	1Q実績	2Q実績	3Q実績
受注高	+7%	△2%	+4%
受注残高	△13%	△13%	△12%

データセンター事業以外の3Qの受注残高は対前年+8%

© Canon Marketing Japan Inc. 2025

11ページ目は、エンタープライズセグメントのご説明です。

3Qの売上は、「キヤノン製品他」及び「ITソリューション」が順調に推移したことにより、
対前年6%増の637億円となりました。
営業利益は、売上増加に伴い荒利が増加し、対前年6億円増の44億円となりました。

（キヤノン製品他）
「キヤノン製品他」については、オフィスにおけるペーパーレス化の影響が続いていること等により、
オフィスMFPの保守サービスの売上は減少しました。
市場は縮小しているものの、複数の大型案件があったことにより、レーザープリンターの台数は増加、
オフィスMFPの台数は大幅に増加しました。
また、レーザープリンターカートリッジについては、大口の受注があり、売上は増加しました。
これらの結果、「キヤノン製品他」全体の売上は対前年6%増となりました。

（ITソリューション）
「ITソリューション」については、キヤノンITソリューションズにおいて製造業向けSI案件等が好調に
推移したことや複数のIT基盤案件があったことに加え、プリマジェストにおいて金融業向けBPO案件が
好調に推移したことにより、対前年7%増となりました。

業績 セグメント情報　第3四半期(7月～9月)　エンタープライズ

Canon キヤノンマーケティングジャパングループ

- ✓ 売上高は、「キヤノン製品他」及び「ITソリューション」が順調に推移したことにより、増収
- ✓ 営業利益は、売上増加に伴う荒利の増加により、増益

（単位：億円）

	3Q実績（7-9月）				累計実績（1-9月）			
	2024年	2025年	対前年 金額	対前年 率	2024年	2025年	対前年 金額	対前年 率
キヤノン製品他	140	**148**	+8	+6%	436	**436**	△1	△0%
ITソリューション	458	**489**	+30	+7%	1,381	**1,536**	+156	+11%
売上高計	599	**637**	+38	+6%	1,817	**1,972**	+155	+9%
営業利益	38	**44**	+6	+15%	131	**141**	+10	+7%
利益率	6.4%	**6.9%**	+0.5pt	–	7.2%	**7.1%**	△0.1pt	–

※2025年より、「エンタープライズ」セグメントにあった一部事業を「その他」に移管したことに伴い、各セグメントの2024年実績を組替えております。 ※2025年より、「その他」にあったプリマジェストを「エンタープライズ」セグメントに移管しました。

■（ご参考）主要関係会社実績　キヤノンITソリューションズ

	3Q実績 2024年	3Q実績 2025年	増減 率	3Q累計実績 2024年	3Q累計実績 2025年	増減 率
売上高	340	368	+8%	1,027	1,098	+7%
営業利益	33	38	+15%	104	111	+6%

※2025年7月より、ＴＣＳをキヤノンITソリューションズへ合併したことに伴い、キヤノンITソリューションズの2024年実績を組替えております。

キヤノンITソリューションズ受注高・受注残高（対前年伸び率）

	1Q実績	2Q実績	3Q実績
受注高	+7%	△2%	+4%
受注残高	△13%	△13%	△12%

データセンター事業以外の3Qの受注残高は対前年+8%

© Canon Marketing Japan Inc. 2025

【キヤノンITソリューションズ実績／受注高・受注残高】
主要関係会社のキヤノンITソリューションズの実績についてご説明します。
7月にＴＣＳをキヤノンITソリューションズへ合併したことに伴い、
比較対象となる前年の3Q実績を組み替えております。

キヤノンITソリューションズの売上は、対前年8%増の368億円となりました。
営業利益は、売上増加に伴い荒利が増加し、対前年5億円増の38億円となりました。

受注高は、昨年同期に文教向けPCの大型案件があり、その剥落があったものの、
製造業向けSI案件が好調に推移したことや、公共向けの大型IT基盤案件を獲得したことにより、
対前年4%増となりました。

また、受注残高については、製造業向けSI案件が順調に推移したものの、大型のデータセンター案件の
売上への切替等により、対前年12%減となりました。なお、企業のIT投資意欲は引き続き
高い状態にあり、お客さまへの提案を積極的に行っていることで、データセンター以外の受注残高は
対前年8%増となりました。

【プリマジェスト、ＴＣＳの状況】
グループ入りしたプリマジェストについては、ビジネスが順調に成長し、売上が拡大しています。
また、グループ入り前から見込んでいたシナジーが発現し、3Qにおいても、金融業、公共のお客さまで
新規の案件を受注しました。

ＴＣＳについては、7月にキヤノンITソリューションズとの合併が完了しました。
グループ内での連携強化により、3Qにおいても、製造業のお客さまで新規の案件を受注しました。
今後は、キヤノンITソリューションズ内での連携をさらに強化し、合併の効果を最大化してまいります。

業績 セグメント情報　第3四半期(7月～9月)　エリア

Canon
キヤノンマーケティングジャパングループ

- ✓ 売上高は、「キヤノン製品他」が前年同期並みとなったものの、「ITソリューション」が好調に推移したことにより、増収
- ✓ 営業利益は、売上増加に伴う荒利の増加に加え、人件費等の販管費の減少により、増益

（単位：億円）

	3Q実績（7-9月）				累計実績（1-9月）			
	2024年	2025年	対前年 金額	対前年 率	2024年	2025年	対前年 金額	対前年 率
キヤノン製品他	375	**374**	△1	△0%	1,168	**1,158**	△10	△1%
ITソリューション	180	**215**	+35	+19%	556	**626**	+69	+12%
売上高計	555	**589**	+34	+6%	1,724	**1,783**	+59	+3%
営業利益	36	**48**	+12	+35%	133	**161**	+28	+21%
利益率	6.4%	**8.1%**	+1.7pt	–	7.7%	**9.0%**	+1.3pt	–

※2025年より、「エンタープライズ」セグメントにあった一部事業を「その他」に移管したことに伴い、各セグメントの2024年実績を組替えております。

■（ご参考）主要関係会社実績
キヤノンシステムアンドサポート

	3Q実績		増減	3Q累計実績		増減
	2024年	2025年	率	2024年	2025年	率
売上高	266	290	+9%	811	858	+6%
営業利益	16	29	+82%	51	77	+52%

© Canon Marketing Japan Inc. 2025

12ページ目は、エリアセグメントのご説明です。

3Qの売上は、「キヤノン製品他」が前年同期並みとなったものの、「ITソリューション」が好調に推移したことにより、対前年6%増の589億円となりました。
営業利益は、売上増加に伴う荒利の増加に加え、販管費の減少により、
対前年12億円増の48億円となりました。
なお、販管費については、生産性向上の取り組みを進めていることにより、人件費等が減少しております。

（キヤノン製品他）
「キヤノン製品他」については、オフィスにおけるペーパーレス化の影響が続いていること等により、
レーザープリンターの台数、オフィスMFPの保守サービスの売上ならびにレーザープリンターカートリッジの
売上は減少しました。
市場は縮小しているものの、オフィスMFPについては、お客さまの業務効率向上に対する提案活動を
積極的に進めたことにより、台数は増加しました。
また、オフィスでのプリント内製化に最適なimageFORCEのライトプロダクションモデルの販売が
好調に推移しました。
これらの結果、「キヤノン製品他」全体の売上は前年同期並みとなりました。

（ITソリューション）
「ITソリューション」については、Windows 10の延長サポート終了に伴うビジネスPCの入替が進んだ
ことに加え、ビジネスPCと合わせて提案したランサムウェア対策ソフトやウイルス対策ソフト「ESET」等の
セキュリティや中小企業のサステナブル経営・DX推進をトータルで支援する「まかせてIT」の契約件数が
増加したことで、対前年19%増となりました。

【キヤノンシステムアンドサポート実績】
主要関係会社のキヤノンシステムアンドサポートの売上は、対前年9%増の290億円となりました。
営業利益は、売上の増加に伴う荒利の増加により、対前年13億円増の29億円となりました。
なお、営業利益率については、「まかせてIT」を中心としたストック型ビジネスが順調に推移していることに
加え、付加価値の高いIT機器の導入・設置サポートやランサムウェア対策ソフトやウイルス対策ソフト
「ESET」等のセキュリティが増えていることにより向上しています。
また、SFAの活用により営業活動を効率化し、付加価値の高い提案活動を増加させたことで
お客さま１社当たりの売上金額が増加しています。
今後もこの活動を強化してまいります。

業績 セグメント情報　第3四半期(7月～9月)　プロフェッショナル

Canon キヤノンマーケティングジャパングループ

- ✓ 売上高は、産業機器とヘルスケアの減少により、減収
- ✓ 営業利益は、荒利率向上により荒利は増加したものの、販管費の増加により、減益

（単位：億円）

	3Q実績（7-9月）				累計実績（1-9月）			
	2024年	2025年	対前年		2024年	2025年	対前年	
			金額	率			金額	率
プロダクションプリンティング	21	**22**	+1	+6%	67	**67**	△0	△0%
産業機器	34	**33**	△1	△2%	144	**134**	△10	△7%
ヘルスケア	34	**33**	△1	△4%	127	**148**	+21	+17%
売上高計	89	**88**	△1	△1%	338	**349**	+11	+3%
営業利益	8	**7**	△1	△8%	40	**36**	△4	△10%
利益率	9.0%	**8.3%**	△0.7pt	–	11.8%	**10.3%**	△1.4pt	–

※2025年より、「エンタープライズ」セグメントにあった一部事業を「その他」に移管したことに伴い、各セグメントの2024年実績を組替えております。

■（ご参考）主要関係会社実績
キヤノンプロダクションプリンティングシステムズ

	3Q実績		増減	3Q累計実績		増減
	2024年	2025年	率	2024年	2025年	率
売上高	20	21	+6%	63	63	+0%
営業利益	1	1	△13%	3	3	+15%

© Canon Marketing Japan Inc. 2025

13ページ目は、プロフェッショナルセグメントのご説明です。

3Qの売上は、産業機器とヘルスケアの減少により、対前年1%減の88億円となりました。
営業利益は、ヘルスケアの荒利率向上により荒利は増加したものの、
産業機器やプロダクションプリンティングで販管費が増加し、対前年1億円減の7億円となりました。

（プロダクションプリンティング）
プロダクションプリンティングについては、高速連帳プリンター案件の増加等により、
売上は対前年6%増となりました。

【キヤノンプロダクションプリンティングシステムズ実績】
主要関係会社のキヤノンプロダクションプリンティングシステムズの売上は、
対前年6%増の21億円となりました。
営業利益は、売上増加に伴い荒利は増加したものの、販管費の増加により、
対前年1千万円減の1億円となりました。

（産業機器）
産業機器については、半導体製造関連装置の販売が減少したこと等により、
売上は対前年2%減となりました。

（ヘルスケア）
ヘルスケアについては、病院向けの案件が減少したことにより、売上は対前年4%減となりました。

セグメント別　製品・サービス売上　第3四半期(7月～9月)

Canon
キヤノンマーケティングジャパングループ

（単位：億円）

	コンスーマ		エンタープライズ		エリア		プロフェッショナル		その他		合計		構成比
	2024年3Q	2025年3Q	2024年3Q	2025年3Q	2024年3Q	2025年3Q	2024年3Q	2025年3Q	2024年3Q	2025年3Q	2024年3Q	2025年3Q	2025年3Q
SIサービス	–	–	183	195	21	21	35	33	△2	△4	236	245	30%
（対前年）		-		+6%		△2%		△4%		-		+4%	
保守・運用サービス/アウトソーシング	–	–	166	177	29	31	3	3	2	2	200	213	26%
（対前年）		-		+7%		+6%		+7%		-		+7%	
ITプロダクト・システム販売	81	91	110	117	130	163	–	–	△11	△19	310	352	44%
（対前年）		+12%		+7%		+26%		-		-		+14%	
ITソリューション合計	81	91	458	489	180	215	38	37	△12	△20	746	811	100%
（対前年）		+12%		+7%		+19%		△3%		-		+9%	
キヤノン製品他	261	226	140	148	375	374	51	52	△30	△30	797	769	
（対前年）		△13%		+6%		△0%		+1%		-		△4%	
合計	342	317	599	637	555	589	89	88	△42	△51	1,543	1,580	
（対前年）		△7%		+6%		+6%		△1%		-		+2%	

※「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、シェアードサービス事業、セグメント間取引消去を含んでおります。
※2025年より、「その他」にあったプリマジェストを「エンタープライズ」セグメントに移管したことに伴い、2024年実績を組替えております。
※2025年より、「エンタープライズ」セグメントにあった一部事業を「その他」に移管したことに伴い、各セグメントの2024年実績を組替えております。
※2025年7月に、「エンタープライズ」セグメントにあったＴＣＳをキヤノンITソリューションズへ合併しましたが、継続性の観点から第２四半期までと同様の集計を行っております。

© Canon Marketing Japan Inc. 2025

14ページ目は、セグメント別 製品・サービスの売上です。
ここでは、ITソリューションの3Qの実績についてご説明します。

まずは、「SIサービス」です。
プロフェッショナルセグメントのヘルスケアにおいて病院向けの案件が減少したものの、
エンタープライズセグメントにおいて、製造業向けSI案件等が好調に推移したことにより
「SIサービス」全体は対前年4%増となりました。

「保守・運用サービス/アウトソーシング」は、エンタープライズセグメントにおいて、
プリマジェストで金融業向けBPO案件が好調に推移したことに加え、
エリアセグメントにおいて「まかせてIT」が順調に推移したこと等により、対前年7%増となりました。

「ITプロダクト・システム販売」は、エリアセグメントにおいて、ビジネスPCの販売が大幅に増加したこと、
ランサムウェア対策ソフトやウイルス対策ソフト「ESET」等のセキュリティが好調に推移しました。
また、コンスーマセグメントにおいて、高性能PCやPC周辺機器の販売が好調に推移したことに加え、
エンタープライズセグメントにおいて、複数のIT基盤案件があったこと等により、対前年14%増となりました。

これらの結果、グループITソリューション全体の売上は、対前年9%増となりました。

セグメント別　製品・サービス売上　第3四半期累計(1月～9月)

Canon
キヤノンマーケティングジャパングループ

（単位：億円）

	コンスーマ		エンタープライズ		エリア		プロフェッショナル		その他		合計		構成比
	2024年 1Q-3Q	2025年 1Q-3Q	2024年 1Q-3Q	2025年 1Q-3Q	2024年 1Q-3Q	2025年 1Q-3Q	2024年 1Q-3Q	2025年 1Q-3Q	2024年 1Q-3Q	2025年 1Q-3Q	2024年 1Q-3Q	2025年 1Q-3Q	2025年 1Q-3Q
SIサービス	–	–	558	570	81	59	128	150	△9	△7	759	771	30%
（対前年）		-		+2%		△27%		+16%		-		+2%	
保守・運用サービス/アウトソーシング	–	–	465	533	86	91	10	11	5	7	566	641	25%
（対前年）		-		+15%		+6%		+7%		-		+13%	
ITプロダクト・システム販売	256	292	357	433	389	476	–	–	△34	△69	968	1,132	45%
（対前年）		+14%		+21%		+22%		-		-		+17%	
ITソリューション合計	256	292	1,381	1,536	556	626	138	160	△38	△70	2,293	2,545	100%
（対前年）		+14%		+11%		+12%		+16%		-		+11%	
キヤノン製品他	727	682	436	436	1,168	1,158	200	189	△92	△90	2,439	2,374	
（対前年）		△6%		△0%		△1%		△6%		-		△3%	
合計	983	974	1,817	1,972	1,724	1,783	338	349	△130	△160	4,732	4,918	
（対前年）		△1%		+9%		+3%		+3%		-		+4%	

※「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、シェアードサービス事業、セグメント間取引消去を含んでおります。
※2025年より、「その他」にあったプリマジェストを「エンタープライズ」セグメントに移管したことに伴い、2024年実績を組替えております。
※2025年より、「エンタープライズ」セグメントにあった一部事業を「その他」に移管したことに伴い、各セグメントの2024年実績を組替えております。
※2025年7月に、「エンタープライズ」セグメントにあったＴＣＳをキヤノンITソリューションズへ合併しましたが、継続性の観点から第２四半期までと同様の集計を行っております。

© Canon Marketing Japan Inc. 2025

15ページ目は、第3四半期累計のセグメント別 製品・サービスの売上です。

「SIサービス」が対前年2%増、「保守・運用サービス/アウトソーシング」が対前年13%増、
「ITプロダクト・システム販売」が対前年17%増となり、
グループITソリューション全体の売上は対前年11%増となりました。

業績予想サマリー　年間(1月～12月)

Canon
キヤノンマーケティングジャパングループ

（単位：億円）

	2025年 年間 前回予想	2025年 年間 今回予想	増減 金額	増減 率	2024年 年間 実績	増減 金額	増減 率
売上高	6,800	**6,800**	－	－	6,539	+261	+4%
営業利益	570 (8.4%)	**580** **(8.5%)**	+10 (+0.1pt)	+2%	531 (8.1%)	+49 (+0.4pt)	+9%
経常利益	580 (8.5%)	**590** **(8.7%)**	+10 (+0.1pt)	+2%	544 (8.3%)	+46 (+0.4pt)	+9%
親会社株主に帰属する当期純利益	395 (5.8%)	**405** **(6.0%)**	+10 (+0.1pt)	+3%	393 (6.0%)	+12 (△0.1pt)	+3%

© Canon Marketing Japan Inc. 2025

16ページ目は、業績予想サマリーです。

3Qまでの進捗を踏まえ、業績予想を修正しております。

3Qまでは増収増益となりました。
4Qについても、企業の積極的なIT投資を中心とした設備投資が増加する等、
国内の景気は緩やかな回復が続くことが見込まれます。
当社では、引き続き、キヤノン製品事業の更なる収益性の強化を図るとともに、
成長事業と位置づけるITソリューション事業の利益を伴った売上の拡大を図ることで、
年間の増収増益、5期連続の最高益の更新を目指します。

このような状況の中、エリアセグメントで「まかせてIT」やセキュリティを中心とした、
付加価値の高いITソリューション事業が好調に推移したことや、
拠点統廃合費用等の本社関連費用が当初の想定より抑えられていること等により、
営業利益、経常利益を10億円上方修正しました。

また、営業利益の増加に加え、3Qに政策保有株式の売却を実行し、
投資有価証券売却益を計上したことに伴い、純利益を10億円上方修正しております。

業績予想　セグメント概要　年間(1月～12月)　前回予想比較

Canon
キヤノンマーケティングジャパングループ

（単位：億円）

	2025年 年間 前回予想		2025年年間 今回予想		前回予想比較		
	売上	営業利益	売上	営業利益	売上 金額	売上 率	営業利益
コンスーマ	1,425	135	**1,425**	**135**	–	–	–
エンタープライズ	2,674	211	**2,674**	**211**	–	–	–
エリア	2,386	207	**2,386**	**212**	–	–	+5
プロフェッショナル	496	53	**496**	**53**	–	–	–
その他	△181	△36	**△181**	**△31**	–	–	+5
合計	6,800	570	**6,800**	**580**	–	–	+10

※「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、シェアードサービス事業、セグメント間取引消去を含んでおります。

© Canon Marketing Japan Inc. 2025

17ページ目は、セグメント別の業績予想です。

先ほどのご説明の通り、エリアセグメントで5億円、「その他」で5億円、営業利益を上方修正しております。

業績予想　セグメント概要　年間(1月～12月)　前年比較

Canon
キヤノンマーケティングジャパングループ

（単位：億円）

	2024年 年間 実績		2025年 年間 予想		前年比較		
	売上	営業利益	売上	営業利益	売上 金額	売上 率	営業利益
コンスーマ	1,446	138	**1,425**	**135**	△21	△1%	△3
エンタープライズ	2,499	194	**2,674**	**211**	+175	+7%	+17
エリア	2,313	183	**2,386**	**212**	+73	+3%	+29
プロフェッショナル	448	46	**496**	**53**	+48	+11%	+7
その他	△167	△29	**△181**	**△31**	△14	–	△1
合計	6,539	531	**6,800**	**580**	+261	+4%	+49

※「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、シェアードサービス事業、セグメント間取引消去を含んでおります。
※2025年より、「その他」にあったプリマジェストを「エンタープライズ」セグメントに移管したことに伴い、2024年実績を組替えております。
※2025年より、「エンタープライズ」セグメントにあった一部事業を「その他」に移管したことに伴い、各セグメントの2024年実績を組替えております。

© Canon Marketing Japan Inc. 2025

18ページ目は、セグメント別業績予想の前年比較です。

コンスーマセグメントは、インクジェットプリンター及びインクカートリッジが、市場の縮小に伴い減少し、
年間では減収減益を見込んでおります。

エンタープライズセグメント、エリアセグメント、プロフェッショナルセグメントは増収増益を見込んでおります。

業績予想　セグメント概要　第4四半期(10月～12月)

Canon
キヤノンマーケティングジャパングループ

（単位：億円）

	2024年				2025年				増減			
	1Q-3Q（実績）		4Q（実績）		1Q-3Q（実績）		4Q（計画）		1Q-3Q		4Q	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
コンスーマ	983	82	463	56	**974**	**73**	**451**	**62**	△9	△9	△12	+6
エンタープライズ	1,817	131	683	63	**1,972**	**141**	**702**	**70**	+155	+10	+20	+8
エリア	1,724	133	588	50	**1,783**	**161**	**603**	**51**	+59	+28	+14	+0
プロフェッショナル	338	40	110	6	**349**	**36**	**147**	**17**	+11	△4	+37	+11
その他	△130	△23	△37	△6	**△160**	**△29**	**△21**	**△2**	△30	△6	+16	+4
合計	4,732	363	1,807	168	**4,918**	**382**	**1,882**	**198**	+186	+19	+74	+30

※「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、シェアードサービス事業、セグメント間取引消去を含んでおります。
※2025年より、「その他」にあったプリマジェストを「エンタープライズ」セグメントに移管したことに伴い、2024年実績を組替えております。
※2025年より、「エンタープライズ」セグメントにあった一部事業を「その他」に移管したことに伴い、各セグメントの2024年実績を組替えております。

© Canon Marketing Japan Inc. 2025

19ページ目は、セグメント別の4Qの業績予想の前年比較です。

セグメントごとの詳細については、この後ご説明致します。

業績予想　セグメント情報　第4四半期(10月～12月)

Canon
キヤノンマーケティングジャパングループ

（単位：億円）

コンスーマ　エンタープライズ　ITプロ　プロフェッショナル

■ コンスーマ

- ✓ 売上高は、ITプロダクトやインクカートリッジの減少により、減収を見込む
- ✓ 営業利益は、交換レンズやインクジェットプリンターの売上増加に伴う荒利の増加により、増益を見込む

	1Q-3Q（実績）				4Q（計画）			
	2024年	2025年	対前年 金額	対前年 率	2024年	2025年	対前年 金額	対前年 率
売上高	983	**974**	△9	△1%	463	**451**	△12	△3%
営業利益	82	**73**	△9	△11%	56	**62**	+6	+11%
利益率	8.3%	**7.5%**	△0.8pt	–	12.1%	**13.8%**	+1.7pt	–

※2025年より、「エンタープライズ」セグメントにあった一部事業を「その他」に移管したことに伴い、各セグメントの2024年実績を組替えております。

■ エンタープライズ

- ✓ 売上高は、「ITソリューション」が堅調に推移することにより、増収を見込む
- ✓ 営業利益は、売上増加に伴う荒利の増加により、増益を見込む

	1Q-3Q（実績）				4Q（計画）			
	2024年	2025年	対前年 金額	対前年 率	2024年	2025年	対前年 金額	対前年 率
売上高	1,817	**1,972**	+155	+9%	683	**702**	+20	+3%
営業利益	131	**141**	+10	+7%	63	**70**	+8	+12%
利益率	7.2%	**7.1%**	△0.1pt	–	9.2%	**10.0%**	+0.8pt	–

※2025年より、「その他」にあったプリマジェストを「エンタープライズ」セグメントに移管したことに伴い、2024年実績を組替えております。
※2025年より、「エンタープライズ」セグメントにあった一部事業を「その他」に移管したことに伴い、各セグメントの2024年実績を組替えております。

© Canon Marketing Japan Inc. 2025

20ページ目は、業績予想をセグメントごとにご説明致します。

まずは、コンスーマセグメントです。
4Qは、減収増益を見込んでおります。

売上は、3%減の451億円を見込んでおります。
営業利益については、ITプロダクトやインクカートリッジが減少するものの、
レンズ交換式デジタルカメラやインクジェットプリンター本体の売上増加に伴う荒利の増加により、
対前年6億円増の62億円を見込んでおります。

レンズ交換式カメラについては、お客さまのニーズにお応えした製品展開を積極的に行うことで
出荷が増加することや、ミラーレスカメラへの移行に伴いRFレンズの販売が進むことで、
売上は増加する見込みです。

インクジェットプリンターについては、市場の縮小が継続することが想定されますが、
当社では昨年3Qだった新製品の発売タイミングが、今年は4Qとなることから、
売上は増加する見込みです。
インクカートリッジについては、市場の縮小が継続することにより、売上は減少する見込みです。

ITプロダクトについては、Windows 10の延長サポート終了の影響等で昨年PCの売上が
伸びていたことの反動等により、売上は減少する見込みです。

業績予想　セグメント情報　第4四半期(10月～12月)

Canon
キヤノンマーケティングジャパングループ

（単位：億円）

コンスーマ　エンタープライズ　ホーム　プロフェッショナル

■ コンスーマ

- ✓ 売上高は、ITプロダクトやインクカートリッジの減少により、減収を見込む
- ✓ 営業利益は、交換レンズやインクジェットプリンターの売上増加に伴う荒利の増加により、増益を見込む

	1Q-3Q（実績）				4Q（計画）			
	2024年	2025年	対前年 金額	対前年 率	2024年	2025年	対前年 金額	対前年 率
売上高	983	**974**	△9	△1%	463	**451**	△12	△3%
営業利益	82	**73**	△9	△11%	56	**62**	+6	+11%
利益率	8.3%	**7.5%**	△0.8pt	–	12.1%	**13.8%**	+1.7pt	–

※2025年より、「エンタープライズ」セグメントにあった一部事業を「その他」に移管したことに伴い、各セグメントの2024年実績を組替えております。

■ エンタープライズ

- ✓ 売上高は、「ITソリューション」が堅調に推移することにより、増収を見込む
- ✓ 営業利益は、売上増加に伴う荒利の増加により、増益を見込む

	1Q-3Q（実績）				4Q（計画）			
	2024年	2025年	対前年 金額	対前年 率	2024年	2025年	対前年 金額	対前年 率
売上高	1,817	**1,972**	+155	+9%	683	**702**	+20	+3%
営業利益	131	**141**	+10	+7%	63	**70**	+8	+12%
利益率	7.2%	**7.1%**	△0.1pt	–	9.2%	**10.0%**	+0.8pt	–

※2025年より、「その他」にあったプリマジェストを「エンタープライズ」セグメントに移管したことに伴い、2024年実績を組替えております。
※2025年より、「エンタープライズ」セグメントにあった一部事業を「その他」に移管したことに伴い、各セグメントの2024年実績を組替えております。

© Canon Marketing Japan Inc. 2025

次に、エンタープライズセグメントです。
4Qは、増収増益を見込んでおります。

売上は、対前年3%増の702億円を見込んでおります。
営業利益は、売上増加に伴う荒利の増加により、対前年8億円増の70億円を見込んでおります。

「キヤノン製品他」については、オフィスにおけるペーパーレス化の影響により、オフィスMFP及び
レーザープリンターの台数は減少する見込みですが、準大手・中堅企業のお客さまを中心に、
入出力機器を含めたシステム導入案件を引き続き増加させることで、売上拡大を目指します。

「ITソリューション」については、キヤノンITソリューションズで前年同期に文教向けのPCの大型案件があり、
その剥落があるものの、製造業向け及び金融業向けのSI案件が好調に推移することや、
キヤノンマーケティングジャパンで映像ソリューションやBPO等が好調に推移することにより、
売上は増加する見込みです。

業績予想　セグメント情報　第4四半期(10月～12月)

Canon
キヤノンマーケティングジャパングループ

コンシューマ
ビジネスプロセス
エリア
プロフェッショナル

■ エリア

（単位：億円）

- ✓ 売上高は、「ITソリューション」が好調に推移することにより増収を見込む
- ✓ 営業利益は、販管費は増加するものの、売上増加に伴う荒利の増加により、増益を見込む

	1Q-3Q（実績）				4Q（計画）			
	2024年	2025年	対前年 金額	対前年 率	2024年	2025年	対前年 金額	対前年 率
売上高	1,724	**1,783**	+59	+3%	588	**603**	+14	+2%
営業利益	133	**161**	+28	+21%	50	**51**	+0	+1%
利益率	7.7%	**9.0%**	+1.3pt	–	8.5%	**8.4%**	△0.1pt	–

※2025年より、「エンタープライズ」セグメントにあった一部事業を「その他」に移管したことに伴い、各セグメントの2024年実績を組替えております。

■ プロフェッショナル

- ✓ 売上高は、産業機器の増加により、増収を見込む
- ✓ 営業利益は、売上増加に伴う荒利の増加等により、増益を見込む

	1Q-3Q（実績）				4Q（計画）			
	2024年	2025年	対前年 金額	対前年 率	2024年	2025年	対前年 金額	対前年 率
売上高	338	**349**	+11	+3%	110	**147**	+37	+34%
営業利益	40	**36**	△4	△10%	6	**17**	+11	+195%
利益率	11.8%	**10.3%**	△1.5pt	–	5.1%	**11.3%**	+6.2pt	–

※2025年より、「エンタープライズ」セグメントにあった一部事業を「その他」に移管したことに伴い、各セグメントの2024年実績を組替えております。

© Canon Marketing Japan Inc. 2025

次に、エリアセグメントです。
4Qは、増収増益を見込んでおります。

売上は対前年2%増の603億円、営業利益は、販管費は増加するものの、
売上増加に伴う荒利の増加により、対前年4千万円増の51億円を見込んでおります。
販管費については、拠点の統廃合費用やハードウェアの出荷増に伴う物流費等が増加する見込みです。
拠点の統廃合費用は一時的な費用増であり、今後の業績向上に寄与するものと考えております。

「キヤノン製品他」については、
オフィスにおけるプリントボリュームの減少に伴い、保守サービスやレーザープリンターの台数が減少するものの、
ITソリューションと組み合わせた提案を積極的に進めることにより、オフィスMFPの台数は大幅に増加する
見込みです。

「ITソリューション」の売上は、大幅に増加する見込みです。
Windows 10の延長サポート終了に伴うビジネスPCの入替需要が、10月14日のサポート終了後も
継続することに加え、ビジネスPCと合わせてランサムウェア対策ソフトやウイルス対策ソフト「ESET」などの
セキュリティや中小企業のサステナブル経営・DX推進をトータルで支援する「まかせてIT」等を提案する
ことで、これらが好調に推移する見込みです。

業績予想　セグメント情報　第4四半期(10月～12月)

Canon
キヤノンマーケティングジャパングループ

コンシューマ
ビジネスプロセス
エリア
プロフェッショナル

■ エリア

（単位：億円）

- ✓ 売上高は、「ITソリューション」が好調に推移することにより増収を見込む
- ✓ 営業利益は、販管費は増加するものの、売上増加に伴う荒利の増加により、増益を見込む

	1Q-3Q（実績）				4Q（計画）			
	2024年	2025年	対前年 金額	対前年 率	2024年	2025年	対前年 金額	対前年 率
売上高	1,724	**1,783**	+59	+3%	588	**603**	+14	+2%
営業利益	133	**161**	+28	+21%	50	**51**	+0	+1%
利益率	7.7%	**9.0%**	+1.3pt	–	8.5%	**8.4%**	△0.1pt	–

※2025年より、「エンタープライズ」セグメントにあった一部事業を「その他」に移管したことに伴い、各セグメントの2024年実績を組替えております。

■ プロフェッショナル

- ✓ 売上高は、産業機器の増加により、増収を見込む
- ✓ 営業利益は、売上増加に伴う荒利の増加等により、増益を見込む

	1Q-3Q（実績）				4Q（計画）			
	2024年	2025年	対前年 金額	対前年 率	2024年	2025年	対前年 金額	対前年 率
売上高	338	**349**	+11	+3%	110	**147**	+37	+34%
営業利益	40	**36**	△4	△10%	6	**17**	+11	+195%
利益率	11.8%	**10.3%**	△1.5pt	–	5.1%	**11.3%**	+6.2pt	–

※2025年より、「エンタープライズ」セグメントにあった一部事業を「その他」に移管したことに伴い、各セグメントの2024年実績を組替えております。

© Canon Marketing Japan Inc. 2025

次に、プロフェッショナルセグメントです。
4Qは、増収増益を見込んでおります。

売上は対前年34%増の147億円を見込んでおります。
営業利益は、産業機器の売上増加に伴う荒利の増加等により、対前年11億円増の17億円を見込んでおります。

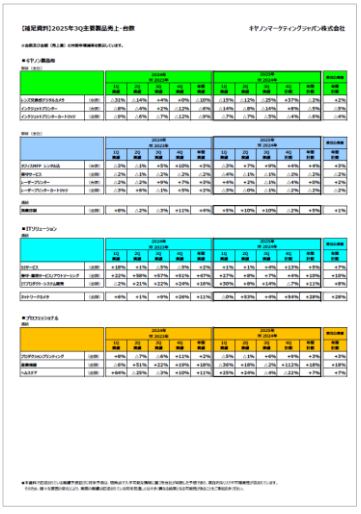
プロダクションプリンティングについては、
高速連帳プリンター及び高速カット紙プリンター等が順調に推移することにより、売上は増加する見込みです。

産業機器については、
半導体製造関連の検査・計測装置が好調に推移することにより、売上は大幅に増加する見込みです。
なお、当社では2026年に計画している案件についても概ね受注済であり、
2027年以降に向けて積極的な提案活動を推進しております。

ヘルスケアについては、
病院向けの案件が減少すること等により、4Qの売上は減少する見込みです。
なお、上期に病院向けの大型案件が複数あったことや、顧客基盤が順調に拡大するとともに、
保守ビジネスを中心としたストック型ビジネスが成長していることから、年間の売上は増加となる見込みです。

【補足資料】主要製品売上・台数

Canon
キヤノンマーケティングジャパングループ



当社ホームページに掲載されております
「2025年12月期第3四半期 補足資料 PDF」を
ご覧ください。

・掲載URL
https://corporate.jp.canon/ir/library/explanation

(当社トップページ>企業情報> 投資家向け情報>IR資料>決算説明会資料)

© Canon Marketing Japan Inc. 2025

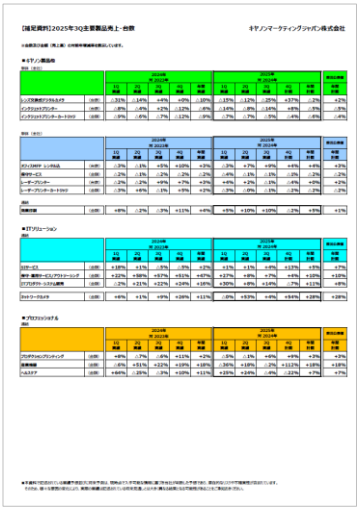
22ページ目は、補足資料の「主要製品売上・台数」表についてご説明致します。
ホームページに掲載されておりますので、お手元にご用意いただければと思います。

3Q実績については、セグメント情報でお伝えしている通りです。
ここでは、セグメント情報でお伝えしていない「商業印刷」、「ネットワークカメラ」の実績について
ご説明致します。

3Qのグループトータルの「商業印刷」は、主に、エリアセグメントで、プリント内製化に最適な
imageFORCEのライトプロダクションモデルの販売が好調に推移した結果、対前年10%増となりました。

次に、3Qのグループトータルの「ネットワークカメラ」です。
エンタープライズセグメントでは、大手企業向けにビデオ管理ソフトウエア「XProtect」、
クラウド遠隔管理サービス「Arcules」、超高感度カメラによる監視等の案件が増加したものの、
準大手・中堅企業向けで昨年大型案件があった剥落により減少しました。
エリアセグメントでは、中小企業向けのクラウド録画サービス「VisualStage」シリーズ等が好調に推移し、
増加しました。
これらの結果、対前年4%増となりました。

【補足資料】主要製品売上・台数



当社ホームページに掲載されております
「2025年12月期第3四半期 補足資料 PDF」を
ご覧ください。

・掲載URL
https://corporate.jp.canon/ir/library/explanation

(当社トップページ>企業情報> 投資家向け情報>IR資料>決算説明会資料)

© Canon Marketing Japan Inc. 2025

続いて、2025年の見通しについて、3Qまでの進捗を踏まえ、前回公表値からの変更箇所をご説明致します。

まず、キヤノン製品についてご説明します。
「レンズ交換式デジタルカメラ」の台数見通しをプラス2%からマイナス2%、
「インクジェットプリンターカートリッジ」の見通しをマイナス4%からマイナス6%、
「レーザープリンター」の台数見通しをプラス2%からプラス0%に
変更いたしました。それぞれ市場の動向が当社の想定を下回ったことが要因です。

一方、「オフィスMFP」は、ITソリューションと組み合わせた提案を強化したことで
お客さまの機器の入替が進み、台数の見通しをプラス3%からプラス4%に変更致しました。

「商業印刷」は、主にエリアセグメントにおいてimageFORCEのライトプロダクションモデルの販売が
好調に推移したことにより、台数の見通しをプラス1%からプラス5%に変更致しました。

次に、ITソリューションです。
「SIサービス」は、エンタープライズセグメント、エリアセグメントにおいて3Qまでの進捗を踏まえ、
見通しをプラス7%からプラス5%に変更致しました。

「ITプロダクト・システム販売」は、主にエリアセグメントにおいてビジネスPCの販売や
ランサムウェア対策ソフト等のセキュリティが想定よりも上振れたため、
見通しをプラス8%からプラス11%に変更致しました。

2025年第3四半期決算と業績予想に関するご説明は以上となります。
この後は、大里からご説明させていただきます。

自己株式の取得について

Canon
キヤノンマーケティングジャパングループ

本日開催の取締役会において、自己株式の取得を行うことを決議しました。

目的

株主還元の充実及び資本効率の向上

概要

・取得価額の総額　：100億円
・取得株式の総数　：2,000,000株　※発行済株式総数の1.84%
・取得期間　：2025年10月27日（月）～2026年1月30日（金）
・取得方法　：東京証券取引所における市場買付

© Canon Marketing Japan Inc. 2025

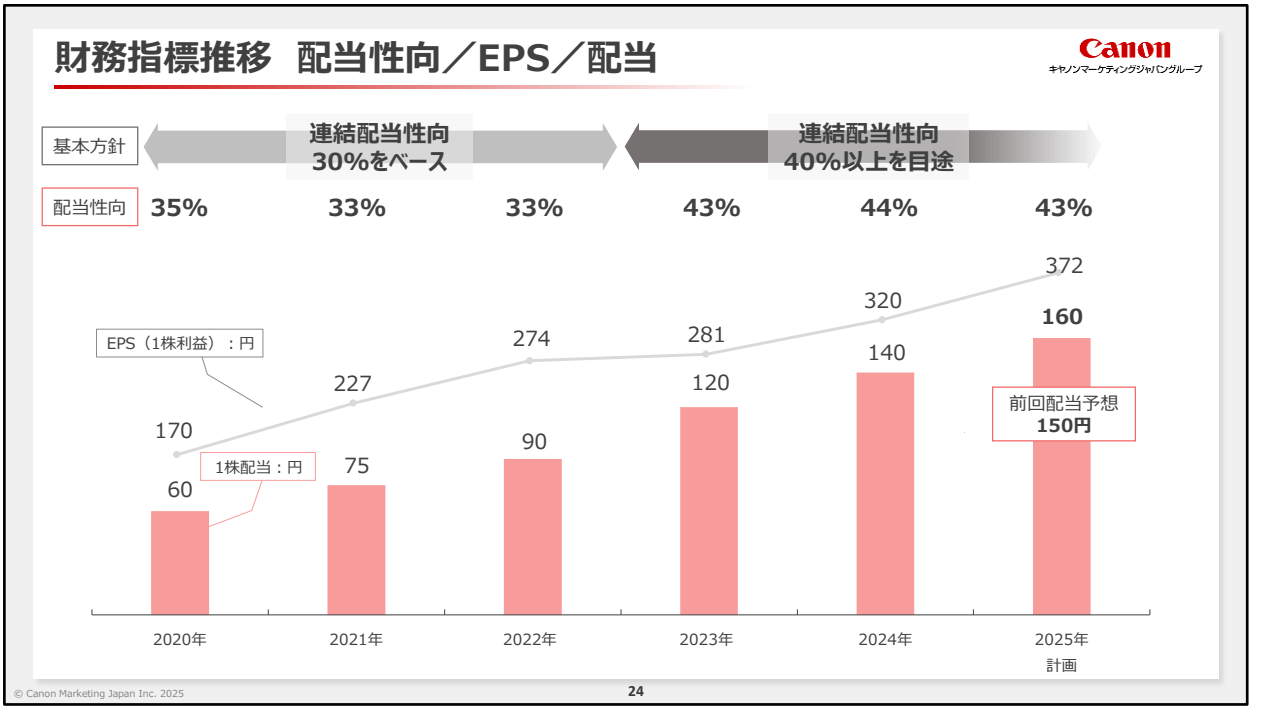
経理を担当しております大里でございます。

私から、本日の取締役会において決議しました自己株式の取得についてご説明致します。

当社では、資本効率の向上や最適なキャッシュアロケーションについて継続的に検討を行っておりますが、
この度、株主資本の圧縮による資本効率の向上、及び株主還元の充実を目的として、
10月27日から1月30日の期間で、市場買付による自己株式の取得を行うことを決定致しました。

取得総額は100億円、最大で200万株を予定しております。
なお、これは発行済株式総数の1.84%にあたります。

今後も、投資家の皆さまにとって魅力的な企業となれるよう、資本市場との対話を重視し、
企業価値の向上を図ってまいります。



次に、年間配当予想の修正についてご説明致します。

当社は、利益配分に関して、連結配当性向40%以上を目途とし、
中期的な利益見通し・投資計画に加え、そこから生み出されるキャッシュ・フロー等を総合的に勘案して
配当を実施することを基本方針としております。

当方針と、今回の上方修正に伴うEPSの向上を踏まえ、
期末配当予想を、年初予想から10円引き上げ、「1株当たり90円」に修正することと致しました。

これにより、既に実施している中間配当「1株当たり70円」と合わせて、
当期の年間配当予想は「1株当たり160円」となり、前年実績から20円の増配を予定しております。

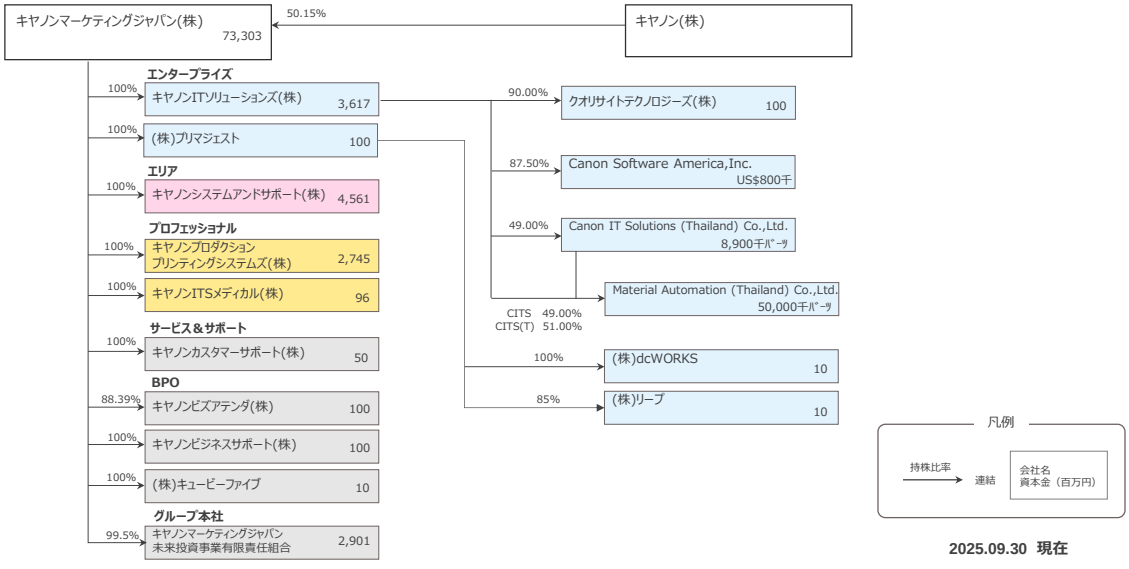
今後も、利益を伴う事業の成長と財務戦略の実行により、株主還元の充実を図ってまいります。
引き続き、キヤノンマーケティングジャパンの企業価値向上に向けた取り組みに
ご注目いただければ幸いです。

Canon
キヤノンマーケティングジャパングループ

本日のご説明は以上となります。
ありがとうございました。

参考資料

関係会社出資関係図



2025.09.30 現在

© Canon Marketing Japan Inc. 2025

販管費の内訳　第3四半期(7月～9月)

Canon
キヤノンマーケティングジャパングループ

（単位：億円）

	2024年 3Q	2025年 3Q	増減
広告宣伝費	14	**9**	△4
販売促進費	9	**7**	△2
保証費	7	**7**	+0
その他直接費	44	**47**	+3
人件費	226	**226**	△0
拠点費用	22	**26**	+4
IT費用	28	**29**	+1
のれん等償却費	8	**9**	+0
その他販売費	37	**39**	+2
合計	394	**400**	+6

© Canon Marketing Japan Inc. 2025

販管費の内訳　第3四半期累計(1月～9月)

Canon
キヤノンマーケティングジャパングループ

（単位：億円）

	2024年 1Q-3Q	2025年 1Q-3Q	増減
広告宣伝費	33	**30**	△3
販売促進費	23	**22**	△1
保証費	20	**21**	+0
その他直接費	134	**143**	+8
人件費	682	**682**	△1
拠点費用	61	**68**	+6
IT費用	83	**80**	△3
のれん等償却費	19	**26**	+7
その他販売費	113	**116**	+3
合計	1,168	**1,186**	+18

© Canon Marketing Japan Inc. 2025

営業外収支の内訳

Canon
キヤノンマーケティングジャパングループ

（単位：億円）

	2024年 3Q	2025年 3Q	増減	2024年 1Q-3Q	2025年 1Q-3Q	増減
受取利息	1	1	+0	3	3	+0
受取配当金	1	0	△1	3	2	△1
受取保険金	0	0	+0	5	5	+0
投資事業組合運用益	0	4	+4	1	4	+4
為替差益	-	0	+0	0	-	△0
その他	0	0	+0	2	3	+1
営業外収益　計	3	7	+4	14	17	+4
支払利息	1	0	△0	1	1	△0
投資事業組合管理費用	1	1	△0	1	2	+0
為替差損	1	-	△1	-	0	+0
投資事業組合運用損	-	△0	△0	-	-	-
その他	1	0	△1	2	2	△0
営業外費用　計	3	1	△2	4	4	△0

© Canon Marketing Japan Inc. 2025

特別損益の内訳

Canon
キヤノンマーケティングジャパングループ

（単位：億円）

	2024年 3Q	2025年 3Q	増減	2024年 1Q-3Q	2025年 1Q-3Q	増減
固定資産売却益	0	0	△0	0	0	△0
投資有価証券売却益	-	11	+11	-	16	+16
関係会社株式売却益	△0	-	+0	29	-	△29
その他	-	-	-	0	-	△0
特別利益 計	△0	11	+11	29	16	△13
固定資産除売却損	0	0	+0	1	1	△0
減損損失	-	-	-	-	5	+5
投資有価証券売却損	-	-	-	-	0	+0
その他	-	-	-	0	0	+0
特別損失 計	0	0	+0	1	6	+5

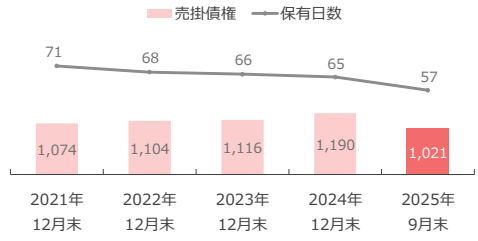
© Canon Marketing Japan Inc. 2025

貸借対照表

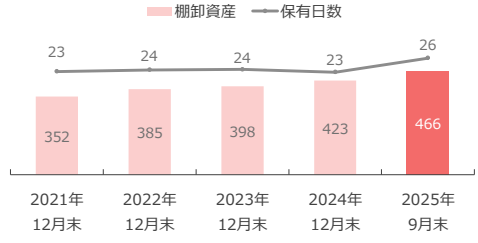
	2024年12月末	2025年9月末	増減
資産	5,246	5,278	+32
流動資産	3,322	3,309	△13
金融資産	1,107	1,699	+591
売掛債権	1,190	1,021	△169
棚卸資産	423	466	+43
その他	601	123	△479
固定資産	1,924	1,969	+45
有形固定資産	881	876	△5
無形固定資産	490	499	+9
投資その他	553	594	+41
負債	1,409	1,351	△58
流動負債	1,235	1,183	△53
買掛債務	501	508	+7
その他	734	674	△60
固定負債	174	168	△5
純資産	3,837	3,927	+90
株主資本	3,476	3,575	+99
（自己株式）	△93	△104	△11
その他の包括利益累計額	351	342	△10
新株予約権	1	1	+0
非支配株主持分	8	9	+0
株主資本比率	73%	74%	+1%

■売掛債権

（単位：億円）

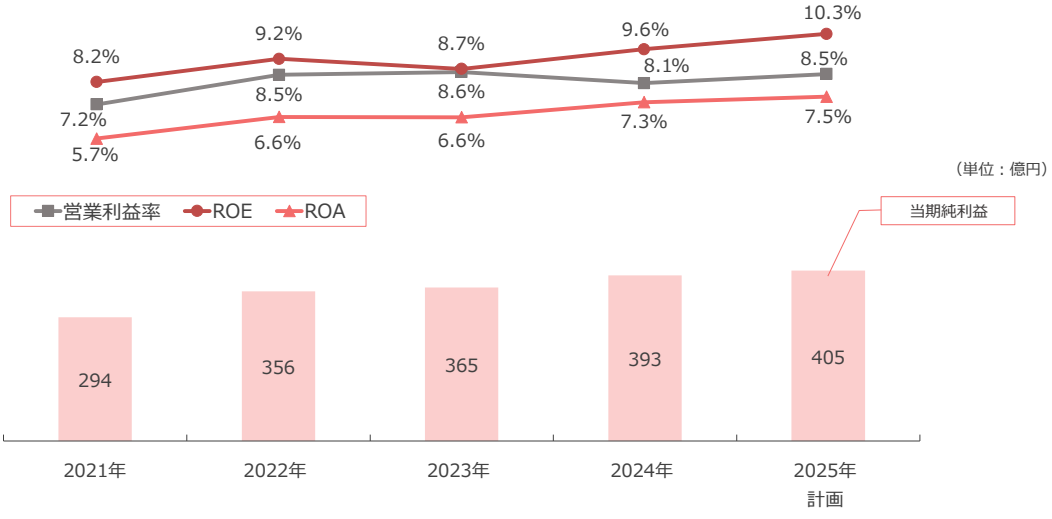


■棚卸資産



© Canon Marketing Japan Inc. 2025

財務指標推移　営業利益率／ROA／ROE

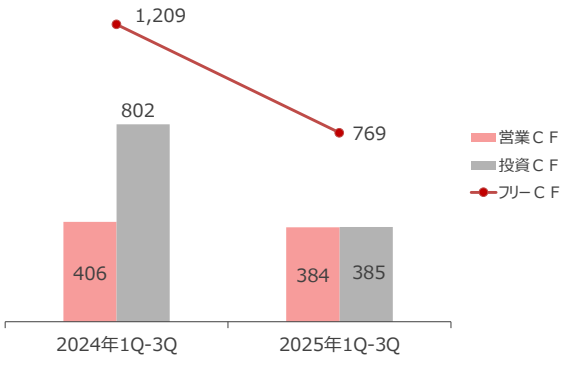


© Canon Marketing Japan Inc. 2025

キャッシュ・フロー／設備投資／減価償却

Canon
キヤノンマーケティングジャパングループ

■キャッシュ・フロー



（単位：億円）

■設備投資

	1Q-3Q 実績	4Q 計画	年間
2024年 実績	85	43	128
2025年 計画	125	64	189

■減価償却

	1Q-3Q 実績	4Q 計画	年間
2024年 実績	76	28	105
2025年 計画	89	31	120

© Canon Marketing Japan Inc. 2025

セグメント別売上構成（2024年度）

Canon
キヤノンマーケティングジャパングループ

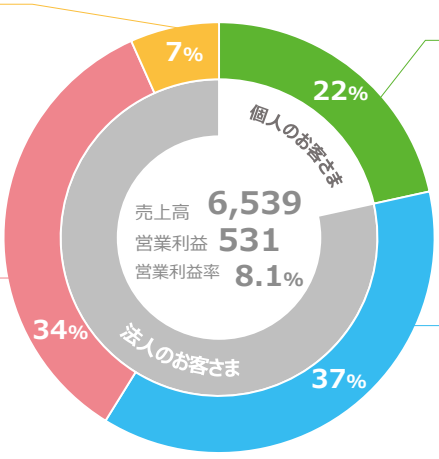
（単位：億円）

4 プロフェッショナル
専門領域のお客さま
プロダクションプリンティング / 産業機器 / ヘルスケア

売上高	営業利益
448	46（10.3%）

1 コンスーマ
個人のお客さま

売上高	営業利益
1,446	138（9.5%）



3 エリア
全国の中小企業のお客さま

売上高	営業利益
2,313	183（7.9%）

2 エンタープライズ
大手、準大手・中堅企業のお客さま

売上高	営業利益
2,499	194（7.8%）

※2025年より、「その他」にあったプリマジェストを「エンタープライズ」セグメントに移管したことに伴い、2024年実績を組替えております。
※2025年より、「エンタープライズ」セグメントにあった一部事業を「その他」に移管したことに伴い、各セグメントの2024年実績を組替えております。
※上記以外に、セグメント間取引消去とシェアードサービス事業、各セグメントに配分していない全社費用等として、その他売上△167億円、その他営業利益△29億円があります。

© Canon Marketing Japan Inc. 2025

セグメント別　事業概要

Canon
キヤノンマーケティングジャパングループ

1　コンスーマ

キヤノンの祖業であるカメラをはじめとするイメージング製品群・インクジェットプリンター等のキヤノン製品とキヤノンブランド以外のコンスーマユース向けプロダクトを、**量販店やオンラインショップ等を通じて個人・法人のお客さま**に販売しています。

カメラ事業

インクジェットプリンター事業

趣味、写真、在宅勤務

ITプロダクト事業

高性能PC

eスポーツ等に使用

2　エンタープライズ

大手企業から準大手・中堅企業や官公庁、教育機関などの幅広いお客さま向けに、業種・業態ごとに異なる経営課題解決に寄与するキヤノン製品やITソリューション、BPO等を提供しています。

大手企業

- MA事業部（キヤノンマーケティングジャパン株式会社）
- 株式会社プリマジェスト

準大手・中堅企業

- キヤノンITソリューションズ株式会社
- GBソリューション事業部（キヤノンマーケティングジャパン株式会社）

2024年　キヤノンMJの子会社となる
金融業向けBPO事業に強み

2003年　住友金属システムソリューションズを子会社化
2007年　アルゴ21を子会社化
2008年　キヤノンITソリューションズ　発足
2023年　TCSを子会社化（2025年 キヤノンITSに合併）

金融業・製造業に強み　データセンターを運営

© Canon Marketing Japan Inc. 2025

セグメント別　事業概要

Canon
キヤノンマーケティングジャパングループ

3　エリア

ビジネスパートナー、システムパートナーによる**間接販売、**キヤノンシステムアンドサポートによる**直接販売**からなる多様なチャネルを最大限に生かし、日本全国の**中小企業のお客さま**向けに、キヤノン製品やITソリューションを提供しています。

中小企業

- ビジネスパートナー
- システムパートナー
- **ビジネスパートナー事業部（キヤノンマーケティングジャパン株式会社）**
- **キヤノンシステムアンドサポート株式会社**

1980年　コピア販売設立
2000年　キヤノンシステムアンドサポートに社名変更
2002年　キヤノンMJ（当時キヤノン販売）の完全子会社となる

直販チャネルでのお客さまとの関係構築

ITインフラを中心とした導入・保守・運用に注力

4　プロフェッショナル

プロダクションプリンティング、産業機器、ヘルスケアといった、**各専門領域のお客さま**を対象とした製品やソリューションを提供しています。

産業機器

半導体製造関連

プラズマアッシング装置

外観検査装置

非半導体関連

X線分析装置

産業用3Dプリンター

※主に海外から仕入れて日本国内のお客さまにローカライズして販売、設置・保守まで行う

プロダクションプリンティング

プロダクションプリンター

ProStream

MJP20JXR

カラーIJプリンター　モノクロIJプリンター

ソフトウエアサービス

ワークフローソリューション　Connect Works Manager
図面管理　POPシステム

ヘルスケア

電子カルテ　**調剤システム**

© Canon Marketing Japan Inc. 2025

顧客層別のITソリューション戦略

Canon
キヤノンマーケティングジャパングループ

エンタープライズセグメント、エリアセグメントはそれぞれキヤノン製品及びITソリューションを取り扱いますが、お客さまの規模が異なっています。

		キヤノン製品事業	ITソリューション事業
大手企業	エンタープライズ		1 顧客との共創によるDXビジネス推進
準大手・中堅企業	エンタープライズ		2 Edgeソリューション 業種・業務特化型サービスの提供 ・映像ソリューション ・デジタルドキュメントサービス ・数理・需要予測 ・ローコード開発 DigitalWork Accelerator　ARCULES 4 セキュリティ 5 ITO・BPO
中小企業	エリア	 消耗品や保守サービスによる安定的な収益	3 HOME、IT運用・保守 ITによる業務革新のフルサポート まかせてIT　HOME

サービス型事業モデルによる価値貢献

© Canon Marketing Japan Inc. 2025

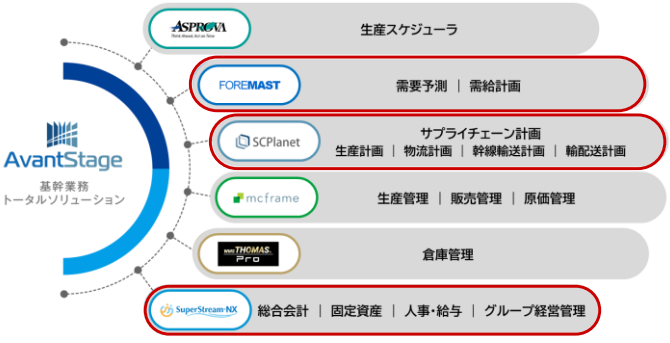
製造業向け基幹業務トータルソリューション

Canon
キヤノンマーケティングジャパングループ

社会課題 社会的な物流問題
フードロスの発生

→ **数理技術**を活用した
SCM／ERP 基幹業務トータルソリューションの提供

※ SCM…サプライチェーン・マネジメント
ERP…エンタープライズ・リソース・プランニング



AvantStage導入企業様例

- 味の素株式会社様
- サッポロホールディングス株式会社様
- 日鉄ケミカル＆マテリアル株式会社様
- 日本食研ホールディングス株式会社様
- 日本ゼオン株式会社様
- 株式会社フコク様
- マルハニチロ株式会社様

※ソリューション群から、各社最適なものを選択してご導入

詳しくはこちら ▶ https://www.canon-its.co.jp/solution/industry/manufacturing/erp
https://www.canon-its.co.jp/solution/industry/manufacturing/scm

© Canon Marketing Japan Inc. 2025

ITによる中小企業のフルサポート

Canon
キヤノンマーケティングジャパングループ

お困りごと　IT専任人材の不足 ····▶ DX実現に向けた
計画策定、機器選定、導入、運用、保守、教育までをトータルで支援

キヤノンS&S まかせてIT

BXシリーズ

経営支援

サステナブル経営に
おける課題解決を支援

■IT経営力向上支援
- DX認定取得支援サービス
- ITコーディネートサービス
- 法改正・制度変更対応

■営業力強化支援
- 営業戦略策定支援サービス
- SFA支援サービス

■教育支援
- スキル向上支援サービス
- 研修支援サービス

■セキュリティ対策強化支援
- セキュリティ対策評価制度 申請支援サービス
- セキュリティ対策評価制度 更新支援サービス
- セキュリティ訓練サービス
- 情報セキュリティルール 作成支援サービス

■脱炭素経営支援
- CO_2排出量算定支援サービス

■生成AI活用支援
- 生成AI時代の人材育成研修

DXシリーズ

カスタマーサポートセンター

DX実現に向けたITの計画策定から、
機器選定、導入、運用、保守、教育までを支援

■安心パック
- セキュリティ対策 安心パック
- 情報漏えい対策 安心パック
- データ保護 安心パック
- PC 安心パック

■アウトソーシング
- IT運用アウトソーシングサービス

■保守運用
- PC 運用支援サービス
- サーバー 運用支援サービス
- ネットワーク 運用支援サービス
- アプリケーション 運用支援サービス

■業種別ソリューション
- 介護 ソリューション
- 幼稚園・保育園 ソリューション
- 建設業 ソリューション
- 製造業 ソリューション

■ICTプラットフォーム
- クラウド運用支援サービス
- 映像ソリューション
- Wi-Fi最適環境 運用支援サービス

© Canon Marketing Japan Inc. 2025

金融機関向けバックオフィス業務統合ソリューション

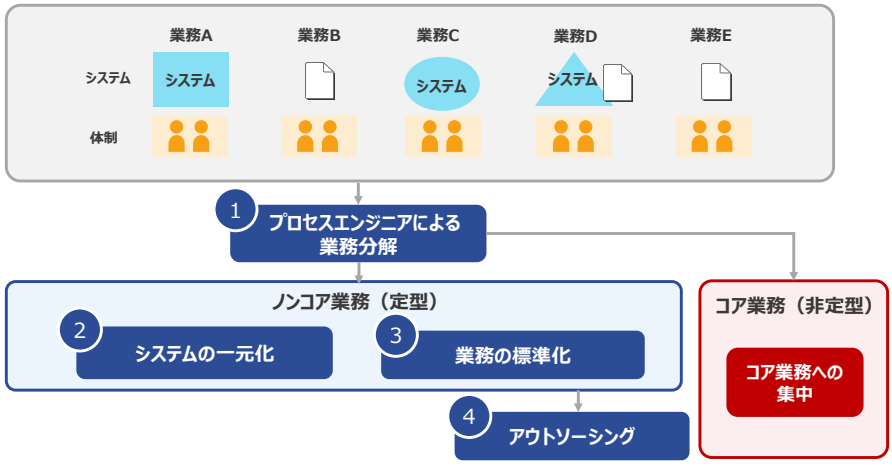
Canon
キヤノンマーケティングジャパングループ

お困りごと

法令改正やセキュリティ強化への対応
バックオフィス業務における紙と電子データの混在

→

システムや業務の再構築
ノンコア業務のアウトソーシング



© Canon Marketing Japan Inc. 2025

社外からの評価・指数への選定（ESG等）

Canon
キヤノンマーケティングジャパングループ

FTSE4Good Indexに選定

FTSE4Good

FTSE Blossom Japan Indexに選定

FTSE Blossom Japan

FTSE Blossom Japan Sector Relative Indexに選定

FTSE Blossom Japan Sector Relative Index

Morningstar 日本株式ジェンダー・ダイバーシティ・ティルト指数に選定（GEグループ3）

JPX日経インデックス400に選定

JPX-NIKKEI 400

MSCI日本株ESGセレクト・リーダーズ指数に選定

2025 CONSTITUENT MSCI日本株 ESGセレクト・リーダーズ指数

MSCI日本株 女性活躍指数に選定

2025 CONSTITUENT MSCI日本株 女性活躍指数 (WIN)

S&P/JPXカーボン・エフィシェント指数に選定

S&P/JPX カーボン エフィシェント 指数

SOMPOサステナビリティ・インデックスに選定

2025

Sompo Sustainability Index

(※) THE INCLUSION OF Canon Marketing Japan Inc. IN ANY MSCI INDEX, AND THE USE OF MSCI LOGOS, TRADEMARKS, SERVICE MARKS OR INDEX NAMES HEREIN, DO NOT CONSTITUTE A SPONSORSHIP, ENDORSEMENT OR PROMOTION OF Canon Marketing Japan Inc. BY MSCI OR ANY OF ITS AFFILIATES. THE MSCI INDEXES ARE THE EXCLUSIVE PROPERTY OF MSCI. MSCI AND THE MSCI INDEX NAMES AND LOGOS ARE TRADEMARKS OR SERVICE MARKS OF MSCI OR ITS AFFILIATES.

© Canon Marketing Japan Inc. 2025

社外からの評価（人的資本）

Canon
キヤノンマーケティングジャパングループ

健康経営優良法人

えるぼし認定（２つ星）

日経サステナブル総合調査
スマートワーク編　4星に選定

グッドキャリア企業アワード2024
「大賞」受賞

プラチナくるみん認定

「DX検定™」シリーズにおいて
IFSJ イノベーションアワード
「企業優秀賞」「優秀賞」を受賞

© Canon Marketing Japan Inc. 2025

Canon

キヤノンマーケティングジャパングループ